

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-504570(P2000-504570A)
【公表日】平成12年4月18日(2000.4.18)
【出願番号】特願平9-528166
【国際特許分類第7版】
C 1 2 P 19/62
【F I】
C 1 2 P 19/62

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月9日(2004.2.9)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 16. 2. -9 日 適

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示 平成 9 年特許願第 5 2 8 1 6 6 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ギスト プロカデス ベスローテン
ファンノートシャップ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「10」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



請 求 の 範 囲

1. 以下の工程を含む、バイオマス及び固体形態のナタマイシンを含有する発酵培養液からナタマイシンを回収する方法。

(a)バイオマスを崩壊し；及び

(b)上記処理した発酵培養液から固体形態のナタマイシンを分離する。

2. 上記固体ナタマイシンがナタマイシン粒子を含む、請求の範囲第1項記載の方法。

3. バイオマスの崩壊が、以下の技術及び／又は処理の1又は組み合わせを含む、請求の範囲第1項または第2項に記載の方法。

均質化、高剪断混合、超音波処理、加熱、アルカリ処理、酵素処理又は界面活性剤による処理。

4. ナタマイシンの分離が、重力グラジエント分離技術を含む、請求の範囲第1項～第3項のいずれか1項記載の方法。

5. 上記重力グラジエント分離技術が、重力グラジエント遠心技術であるか、アップフローカラム又は湿式サイクロンを用いる、請求の範囲第4項記載の方法。

6. 上記発酵培養液が少なくとも2g/lのナタマイシンを含有する、請求の範囲第1項～第5項のいずれか1項記載の方法。

7. 上記発酵培養液が少なくとも7g/lのナタマイシンを含有する、請求の範囲第6項記載の方法。

8. 上記発酵培養液が、少なくとも2 μ mの平均粒子直径を有するナタマイシン粒子を含む、請求の範囲第1項～第7項のいずれか1項記載の方法。

9. ナタマイシン粒子が、少なくとも5 μ mの平均粒子直径を有する、請求の範囲第8項記載の方法。

10. ナタマイシン粒子が、少なくとも10 μ mの平均粒子直径を有する、請求の範囲第8項又は第9項記載の方法。